



第7号

令和6年10月11日
北区立さくらだこども園

思い切り体を動かして遊ぶと、楽しいね！

ようやく猛暑がおさまり、戸外でも心地よく過ごせる季節になりました。ほし組、にじ組の子どもたちは、保育者や友達と一緒に、かけっこをしたり、9月から始めた「ぶどう鬼」という鬼遊びをしたり、玉入れをしたりするなど、様々な遊びの中で思い切り体を動かして遊ぶことを楽しんでいます。

〈かけっこ〉

鬼遊びやかけっこで繰り返し遊ぶ中で、「今日も走って遊びたい!」「走ると気持ちいい!」と、走ることを楽しんだり、思い切り走る心地よさを感じたりする姿が見られます。たくさん走って遊ぶ中で、「まっすぐ前を見て走ったら、速くなった!」「手もいっぱい動かしたら、びゅんって走れた!」と、一人一人が自分の走りに自信がもてるようになってきたようです。



〈玉入れ〉

玉入れでは、9月から踊っている「GOGO 金メダル」という曲をかけながら、大好きな曲で友達と一緒に踊ったり、曲の途中で玉を投げたりするダンシング玉入れを楽しんでいます。初めはなかなか玉が入らず悔しがる姿もありましたが、繰り返し玉入れをしたり、「すぐに玉を拾ってすぐに投げよう」「少しジャンプして投げたら入ったよ」といろいろな投げ方を試したりする中で、少しずつ玉が入るようになったことを喜んでいます。



友達と一緒にいろいろな運動遊びに繰り返し楽しんで取り組む中で、自然と体力やいろいろな体の動きが身に付くとともに、難しいと思えてもちょっと頑張る気持ちや、してみたら楽しかったと感じてまた取り組む気持ちも育ってきているように感じます。

〈リズム「よっちょれ」〉

9月初め、ほし組とにじ組の子どもたちは、花火ごっこやお祭りごっこ、キャンプごっこなど、夏休みに体験したことを再現して遊ぶことを楽しんでいました。そんなある日、ほし組とにじ組の作った花火を空の上から見たという、祭りが大好きな”まつりちゃん”という女の子から、「よっちょれ」というお祭りの曲が届きました。子どもたちは大喜びで、「太鼓みたいに足をドンドン鳴らすのはどう?」「ケンケンして回ってみようよ!」と、みんなでアイデアを出しながら踊ることを楽しんでいました。すると数日後、今度は”どんどこ”という太鼓から、手紙と太鼓のバチ・バチに貼るキラキラテープが届きました。子どもたちは、太鼓のバチに自分の好きなキラキラテープを貼って、「バチを振ると花火みたいにキラキラだよ」「バチを叩くといい音がするね」と、うれしそうに踊っています。

最近、「僕のパンチ、かっこいいでしょ」「みんなで、はっ!ってポーズするところが好き」などと、体全体を伸び伸びと動かしながら自信をもって踊る姿や、学級や学年の友達と声が揃うよさを感じる姿も見られます。

プレゼントが届いた!
何だろう?早く見たい!



芋掘り遠足に行ってきました！

10月1日に芋掘り遠足に行ってきました。

遠足の日が近付くと、「もうすぐ芋掘りだね」「どんなお芋が掘れるかな？」と保育者や友達とうれしそうに話していました。また、数日前からは、園庭の砂場を畑に見立て、丸めた新聞紙に紫色のカラービニールを巻いて作ったさつま芋を埋めたり掘ったりして芋掘りごっこを楽しむ姿も見られ、芋掘り遠足への期待を膨らませながら過ごしていました。

遠足当日は、初めての畑での芋掘りに戸惑いながらも、「たくさん掘りたい」「大きな芋を掘るぞ」という思いで夢中になって芋を掘っていました。土の中からさつま芋が見えてくると、「もう少しでお芋が掘れるぞ！」と勢いよく手を動かして掘り、「大きなお芋が掘れた！やった！」と自分のお芋が掘れたことを喜んでいました。掘り終わったあとはみんな疲れてくたくたでしたが、「お家の人に見せるぞ！」「家族みんなで食べるんだ」などと、お家の人にも喜んでほしいという思いで、自分の力で重い芋袋を頑張っけて持って帰ってきました。

また、「こんな大きいバスは初めて乗った！楽しいね！」「みんなで外で食べるお弁当は美味しい♪」と行き帰りのバスの時間やお弁当の時間も楽しんでいました。

砂場で芋掘りごっこ
お芋はどこかな？



こんなに大きなお芋が
出てきたよ！



もぐらの手で、
ほりほり！



お弁当うれしい♪
美味しいね！

園服の着方について

衣替えから、登降園時には園帽子と合わせて園服も着用となっています。すべてのボタンを留め、正しく着用しましょう。自分でボタンを留めたり、袖の裏表を正したりするなど、一人で正しく着られるよう、ご家庭でも、やり方を教えながらお子さんが自分でできるように励ましてください。毎日の積み重ねが、お子さんの自立につながっていきます。



10月生まれのおともだち

<ほし組>

<にじ組>